

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を中心に毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《生乳需給は緩和基調へ～下期の生乳需給について～》

- ・10/5週の牛乳の家庭内消費については、前週(9/28週)より伸び率が縮小しており、牛乳類全体では減少幅が拡大している。この背景には、気温が平年以下で推移している地域が多かったことが大きな要因であると思われる。加えて、食品スーパーやドラッグストアでの牛乳販売が引き続き好調である反面、特に10/5週はコンビニエンスストアの落ち込みが顕著であることが確認されており、消費マインドが価格志向に変化していることも考えられる。
- ・なお、都府県の生乳生産が回復基調にある中で、今後は飲用の不要期に入っていくタイミングであり、生乳需給は緩和基調で推移するものと考えられる。
- ・また、今後は、コロナの影響によって景気低迷が深まり、消費者の価格志向が強まることも危惧されることから、業界としては、消費動向の変化を注視した上で、牛乳乳製品の需要拡大に積極的に取り組んでゆく必要がある。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI】

(1)直近(本年8月～)の動向(表①参照)

・直近(10/5週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同100.8%、成分調整牛乳：同96.1%、加工乳：同82.2%、乳飲料：同90.5%。

・牛乳類トータルでは同98.2%と前年を下回って推移している。

・販売単価は、牛乳：190.3円、成分調整牛乳：173.8円、加工乳：186.1円、乳飲料：150.5円。

(2)牛乳は前週(9/28週)より伸び率が縮小し、その他品目は前年割れとなっている。

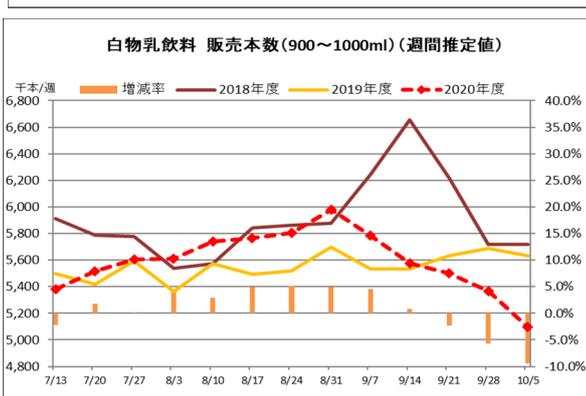
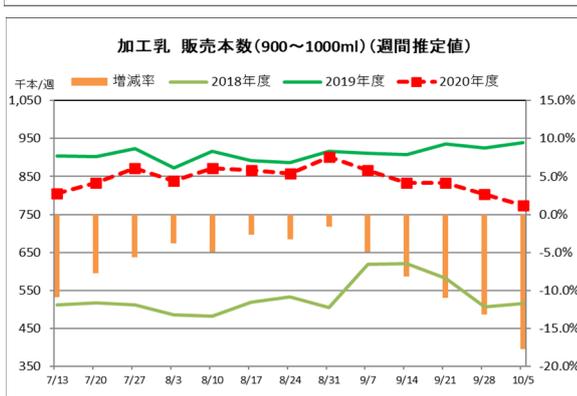
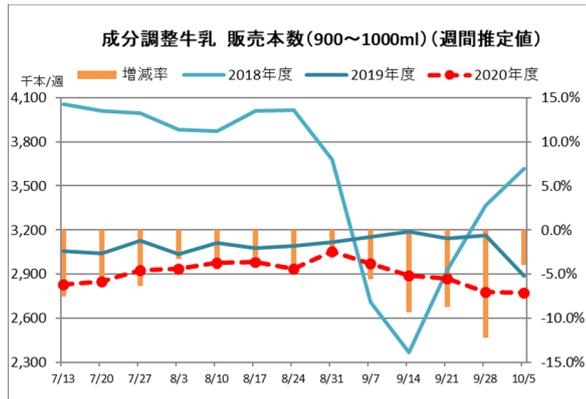
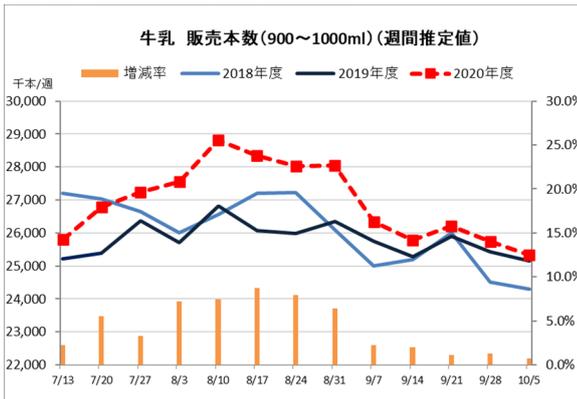
※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(千個)

品目	区分	8.3-	8.10-	8.17-	8.24-	8.31-	9.7-	9.14-	9.21-	9.28-	10.5-
		販売個数									
トータル	販売個数	36,953	38,409	37,954	37,634	37,975	35,955	35,084	35,404	34,702	33,983
	販売個数前年比	105.6	105.4	106.8	106.1	105.2	101.7	100.5	99.4	98.6	98.2
	販売単価	183.4	183.8	183.4	183.2	183.7	183.8	183.9	183.5	182.9	182.9
牛乳	販売個数	27,566	28,821	28,343	28,033	28,043	26,330	25,782	26,204	25,751	25,337
	販売個数前年比	107.2	107.5	108.7	107.9	106.4	102.3	102.0	101.1	101.3	100.8
	販売単価	191.0	191.2	191.0	190.9	191.7	192.0	192.2	191.4	190.7	190.3
成分調整牛乳	販売個数	2,935	2,976	2,982	2,939	3,052	2,974	2,891	2,868	2,780	2,774
	販売個数前年比	96.7	95.6	97.0	95.0	97.8	94.4	90.7	91.3	87.8	96.1
	販売単価	175.0	175.1	175.0	175.3	175.4	175.4	174.9	174.4	173.4	173.8
加工乳	販売個数	839	872	867	858	902	867	833	833	804	773
	販売個数前年比	96.2	95.1	97.3	96.8	98.4	95.1	91.8	88.9	86.9	82.2
	販売単価	184.0	185.3	184.8	184.0	184.3	183.6	184.3	183.3	184.2	186.1
乳飲料	販売個数	5,612	5,740	5,763	5,804	5,978	5,784	5,578	5,499	5,366	5,099
	販売個数前年比	104.6	103.0	104.9	105.2	104.9	104.5	100.9	97.7	94.4	90.5
	販売単価	150.6	151.0	150.1	150.1	150.6	150.6	150.5	150.6	150.4	150.5

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近(本年8月～)の動向(表②参照)

直近(10/5週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90～250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70～130ml):同90%以上、大容量タイプ(350～500ml):同100.%以上。

(2)前週(9/28週)と比較して、ドリンクタイプ、個食タイプは減少幅が大きくなり、また大容量タイプについても前年を僅かに上回る程度となっている。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	8.3-	8.10-	8.17-	8.24-	8.31-	9.7-	9.14-	9.21-	9.28-	10.5-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↓	↘	↘
個食タイプ	⇒	⇒	⇒	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↑	↗	↗	⇒	⇒	↗	↗	⇒	⇒	⇒



:前年比90%未満



:前年比105%以上110%未満



:前年比90%以上100%未満



:前年比110%以上120%未満



:前年比100%以上105%未満



:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。